

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：尻手スマイル保育園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：本間 樹恵子	定員（利用人数）：12名	
所在地：〒230-0001 横浜市鶴見区矢向4-7-21ライオンズビル尻手101		
TEL：045-718-5314	ホームページ：http://smile-nursery.net	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2018年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 ティーエス		
職員数	常勤職員：6名	非常勤職員：3名
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：6名	
	子育て支援員：2名	
施設・設備の概要	（居室数）	
	居室：保育室1室	
	（設備等）	
	設備：調理室	
	設備：幼児用トイレ	
	設備：事務室兼静養室	
	設備：園庭	

③理念・基本方針

<理念>

笑顔があふれる保育園

<保育方針>

- 子どもたちが笑顔で過ごせる環境づくりを目指します。
- 家庭的な雰囲気を中心に、愛情が行き届く温かい保育を目指します。

<保育目標>

1. 安全・衛生的な環境において、基本的な生活習慣を養う。
2. 様々な楽しい体験から、活動への意欲を養う。
3. 他者との関わりの中で愛情・信頼感・思いやりの心を養う。

④施設・事業所の特徴的な取組

<尻手スマイル保育園の特徴的な取り組み>

- 園の発展・充実のためには、職員のチームワークが大切と考え、職員一人ひとりが自由に意見を出せる環境作りを行い、個々のレベルアップを確立していくことを重要視して取り組んでいます。
- 職員一人ひとりが責任と自信を持って働ける職場、職員が働きやすく、働いていたい

と思えるような環境作りに努め、定着につなげていけるよう進めています。
●経営状況の課題については、園の目標についても職員間で意見交換ができるよう、話しやすい園を目指していきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年11月22日（契約日） ～ 2023年03月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【尻手スマイル保育園の概要】

●尻手スマイル保育園は、株式会社ティーエス（以下、法人という）が、平成30年4月1日に開設した横浜市認可小規模保育園です。JR南武線尻手駅から、徒歩3分程の場所にあり、鉄筋コンクリート4階建て「ライオンズビル尻手」の1階にあります。駅の至近距離にありながら、四季の変化を感じられる自然豊かな公園も点在し、天気の良い日は散歩に出かけ、小さな子どもたちは楽しくいっぱい歩きます。尻手スマイル保育園は、法人理念の「笑顔あふれる保育園」を目指し、小規模園ならではの「温かい家庭的な雰囲気」を大切に、子ども一人ひとりに寄り添った保育を実践しています。

●尻手スマイル保育園は、定員19名（0歳児～2歳児）であり、現在12名が在籍しています。園内は、広いワンルームを、年齢に応じてスペースを分けて使用し、安全・衛生面に十分配慮し、至る所に転倒防止策が施されています。保育室内は子どもたちが使いやすい位置に遊具等を配置し、手洗い場は子ども仕様の使いやすい自動水栓を採用しています。安心・安全な環境で、保育士と一緒に手遊びやリズム遊び等、笑顔でスキンシップを子どもたちは楽しんでいきます。

◇特長や今後期待される点

1. 【安心・安全な保育からの体づくり】

尻手スマイル保育園（以下、当園という）では、戸外遊びとして散歩を年間計画に入れています。当園の周辺には公園が点在し、予め職員が安全点検して散歩コースを決め、年齢やその日の子どもの状況に応じて実施しています。調査日は、全員での散歩に同行しました。0歳児はお散歩カート、1歳～2歳児は手をつなぎ、目的地「新鶴見公園」までの散歩です。保育士は、常に子どもたちの動きを把握し、危険防止に努めています。引率では、安全面の配慮と共に、子どもたちが楽しく歩けるように絶えず言葉かけをしています。近隣の人に挨拶したり、横断歩道の渡り方、草花や電車を見たり等々、散歩を通しての学びも多くあります。子どもたちのペースに合わせて歩き、約20分かけて到着。一人ひとりの様子を観察し、水分補給しながら小休憩を取り、簡単な約束を決めて遊びがスタート。子どもたちは、広々とした公園内を駆け回ったり、遊具で遊ぶ等、歓声を上げながら意欲的に遊びを楽しんでいました。2歳児はもとより、1歳児は思いっきり遊んでも帰りもしっかり歩いて帰園し、体力に驚かされました。日々の保育実践の積み重ねと、職員の安全管理意識の高さによるものと思われる。

2. 【一人ひとりを大切に保育】

当園は、小規模園の特長でもある「家庭的な保育」を基盤に、一人ひとりにやさしく、丁寧にゆったりと接し、子どもたちが一日を楽しく気持ち良く過ごせるように努めています。子どもたちの健康状態の把握はもとより、常に、どんな気持ちなのかを考え、心に寄り添うようにしています。長い時間を保育園で過ごすことから、飽きさせないよう、疲れさせないようにと、デイリープログラムを考え実施しています。子どもたちの自主

性を尊重し、「遊びたい」、「やりたい」保育ができるよう、必要に応じて見守り・援助ができる保育を職員間で連携して行っています。排泄面では、2歳児は全員がパンツで過ごし、自らトイレで排泄しています。家庭と連携して、無理なくスムーズにオムツが外れ、家庭で3歳児健診に行った際、「自分の子だけがパンツでした」と驚いた声も聞かれます。保護者とは、毎日の連絡帳や口頭で子どもの様子を伝え合い、良好な信頼関係が築かれています。今回の利用者（保護者）アンケートにも「一人ひとりに合った接し方」、「先生の目が行き届いている」、「家庭の延長である」等、意見が多く寄せられ、保育方針の「家庭的な雰囲気を中心に、愛情が行き届く温かい保育を目指します。」が、実践されています。

3. 【アイデアいっぱいの保育】

法人理念である「笑顔があふれる保育園」を目指し、子ども・職員が楽しい経験を積み重ねています。食育では、近隣の八百屋さんに、2歳児の子どもたちと食材の買い出し体験の他、「うどんづくり」を実践、2歳児で小麦粉をこねて、足で踏んで生地を作り、でき上がったうどんを試食するという本格的なものでした。また、年間の四季の行事や楽しい遊び等が、ドキュメンテーションで表されていました。中でも「そうめん流し」遊びはユニークで、牛乳パックで作成したスライダーに、白い綿紐をそうめんに見立てて流し、1・2歳児がお玉やフォークですくって楽しんでいました。毎月の園便りには、子どもたちの様子を写真入りで紹介する等、保育内容を伝えています。いずれも職員・子どもたちの笑顔が溢れ楽しさが伝わってきます。今回の利用者（保護者）アンケートの設問、「お子さんは保育園で楽しく過ごしていますか」では、満足回答率は92%でした。また、保護者には行事「にこにこウィーク😊やってみよう!!」の様子をDVDにして手渡し、好評を得ていました。今年度の2歳児のお別れ遠足は、職員のアイデアで「カワスイ川崎水族館」を予定しています。職員が入念に下調べをし、子どもたちが楽しめるように計画しています。「保育士が楽しいと思える保育が、子どもを笑顔にする」との信念で職員が参加し、アイデアを様々に練って、保育に生かしています。

4. 【経営課題への取り組みについて】

当園の経営課題として、「入所園児の確保」、「保育士の人員確保」、「環境の変化による経営状況の対応」が挙げられています。保育士については、目下、全員が意見を言い合える明るく良い関係であり、離職の予定者もなく安定しています。今後は、法人のキャリアアップ制度の見える化や福利厚生充実が期待されます。職員の働くモチベーションアップにつながると同時に、当園の課題解決にもなると思われ、今後の取り組みに期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：尻手スマイル保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

初めての受審に不安もありましたが、心構えとして、普段通りの保育を見て頂き、評価を謙虚に受け止めることを心がけました。

開設から5年目を迎え、専門知識を有した外部の評価機関に客観的に見て頂き、質を高めるための改善点を認識し、新たな目標を掲げて、良質で適切なサービスを提供するための良い機会となりました。施設長を中心とした職員の業務や役割を整備し、常に点検し改善に向けて努力していく必要があると思いました。

<評価後取り組んだ事として>

1. 全体的な計画、年間指導計画、保健計画、食育計画の見直し。
2. 保育室の環境構成の変化。
3. ご意見箱の設置。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり